

農地中間管理事業の推進に関する法律（平成25年法律第101号）第26条第1項に基づく農業者等の協議が行われたので、同項の規定により下記のとおり公表する。

平成27年9月28日

阿久根市長 西平良将

## 記

### 1. 協議の場を設けた区域の範囲

#### ○ 鶴川内地区

（楡，羽田，桑原城上，桑原城下，宮原，横手，菘野，長谷，木佐木野，尾原，米次，田代中，田代下）

### 2. 協議の結果を取りまとめた年月日

平成27年9月28日

### 3. 当該地域における今後の地域の中心となる経営体（担い手）の状況

#### ○ 経営体数

個人： 16 経営体

法人： 1 経営体

### 4. 3の結果として、当該区域に担い手が十分いるかどうか

担い手はいるが、十分ではない。

### 5. 農地中間管理機構の活用方針

農業競争力強化基盤整備事業（中山間地域型）が平成28年度より実施される予定であり、その事業の実施要件として、担い手への農地集積・集約率をその対象地区内で50%以上を確保しなければならない。その集積・集約の手段として農地中間管理機構を活用する方向で検討中。

また、事業実施以外の農地においても、地域・個人の意向等を考慮し、活用が見込めれば、活用していく方向で検討。

## 6. 地域農業の将来のあり方

これからの話し合い活動により、地域の担い手を中心経営体へ位置づけし、農業者・地域両方にとって利益があるような施策を活用し、農地を守っていく。